

事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ				公表日	2026年2月27日		利用児童数	6名		回収数	6名	
チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	6				・ご意見いただきありがとうございます。現利用者の方で、車いすの方など身体に障がいのある方はいませんが、今後、利用される場合は対応していきたいと思います。							
	2	6											
	3	6											
	4	3			3								
	5	5			1								
適切 な 支 援 の 提 供	6	6				・ご意見いただきありがとうございます。今後も伝わりやすい説明や、周知方法を検討していきます。							
	7	5			1								
	8	6											
	9	5			1								
	10	6											
保 護 者 へ の 説 明 等	11	6				・ご意見いただきありがとうございます。利用者様保護者様の意向をお聞きしながら交流の機会を設けていきたいと思っています。							
	12	3	1	1	1								
	13	6											
	14	6											
	15	5			1								
	16	6											
	17	6											
	18	6											
	19	1	2	1	2								
	20	6											
21	6												
22	6												
23	6												
非 常	24	3			3	・ご意見いただきありがとうございます。今後も伝わりやすい説明や、周知方法を検討していきます。							

常時等の対応	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			3	
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4		1	1	
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				
満足度	28	こどもは安心感をもって通所していますか。	6				・ご意見いただきありがとうございます。今後も楽しんで活動いただけるよう精進してまいります。
	29	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				
	30	事業所の支援に満足していますか。	6				

事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ					公表日	2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		1		<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースが狭くならないよう受入れ人数を制限している。 ・構造化などを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口には段差があり、車いすの方などが利用する場合は適さないが、対象者がいればスロープ設置など対応していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が参画できるよう、時間を設けている。 ・気になるケースがあれば、記録ノートに記載し、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定し、実行はするが、振り返りができていない時がある。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケートも含む	4					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の目標項目をケース記録に記載し、支援中でも常に確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の方向性は確認しながら進めているが、集中して検討する時間の確保も必要。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		1			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		2				

援 の 提 供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4						
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4						
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4						<p>・保護者に了承を得て、契約前に幼稚園、保育所等に連絡し、事前に情報共有を行っている。</p> <p>・専門性の向上のため外部研修に積極的に参加。また、地域との連携を図るため、町主催の研修会や会議等にも参加している。</p>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		2			<p>・地域の方との関わりは少ないが、関係機関とは密に連絡を図っている。</p> <p>・地域との関りが設定できていないが、地域交流を望まないケースもある為、対応を検討している段階である。</p>	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		1				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	1					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。 ※代表職員の参加・伝達も含む	4						
	30	自立支援協議会、こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	4						
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあいも含む	2	1	1				
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4						
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4						<p>・ SNSを活用し、定期的に活動の様子などを保護者に発信している。 SNSでの開示が難しい方に対しては、直接LINEで送ったり、紙面で渡したりしている。</p> <p>・ 保護者の意思は反映できているが、子供自身の意思を反映できているか分からない。</p> <p>・ 事業所の行事に地域住民を招待する際は、個人情報やプライバシー保護に十分配慮する必要があることから、事前に保護者へ説明を行い、同意を得たうえで慎重に実施していくことが求められる。</p>
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4						
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4						
	37	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4						
	38	父母の会の活動を支援したり、保護者会・食事会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1					
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4						
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4						
	41	個人情報に十分注意しているか。	4						
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4						
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2					
	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4						
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4					<p>・安全計画を作成し、安全の確認ができるよう毎日チェック表に記入している。</p> <p>・安全に留意しながら支援しているが、安全管理に関する研修はできていない。</p> <p>・アレルギー結果を確認しているが、医師の指示書でもらうケースはない。</p>	

非常時等の対応	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4				・身体拘束を行うケースが現在はないので、個別支援計画に記載していないが、今後記載していく方向で方法を検討していく。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		2		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		1		
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		1		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		1		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		2		

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別・小集団での活動。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での受入れのため、1対1で関われる時間を大切にしている。 ・ニーズに合わせて個別活動(療育)や小集団での活動(制作や他児との関わりなど)を通して、多様な体験ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出訓練を通して、ルールやマナーなど社会経験を積み機会を設ける。
2	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を下にスタッフ間で共有しながら、お子さんの特性を活かした活動プログラムを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のお子さんの状態に寄り添いながら、目的や意図に応じたプログラム内容を検討・実施していく。 ・プログラムの幅が広がるように、療育内容の知識や幅を広げ、一人ひとりの段階に合わせてプログラムを行っている。
3	お子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの特性や発達の状況について共通理解をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックにてお話しする時間を作ったり、最近の様子や困りごとがないかを尋ねたりなど、情報交換をする機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話をする時間が足りない時は、定期的な面談を計画し、より親密にお話ができるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が主催する保育所や幼稚園、認定こども園との交流の機会や、地域で他の子どもと活動する機会はない。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用しているお子さんは、保育所や幼稚園、認定こども園を併用しているため、改めて交流の機会を設けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や幼稚園等に訪問する機会を積極的に設け、連携を密に図っていく。
2	地域とのかかわりが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育業務が優先となり、地域連携に充てる時間が確保できていない。 ・地域側との接点づくりが計画的に行えていない。 ・保護者の不安に配慮し、交流機会を積極的に設定できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流機会が少ないため、今後は地域資源との連携や行事参加等を計画的に実施し、継続的な関係づくりを進めていく。
3			

事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ				公表日	2026年2月27日		利用児童数	23名		回収数	17名	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				・物の置き場所がきちんと決められていて分かりやすい。家でも同じようにやりたい。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も利用者様保護者様が安心してご利用いただけるようより良い支援を目指していければと思います。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14		2	1							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	17										
	4	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14		1	2							
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17										
適切 な 支 援 の 提 供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			・親が「これくらい出来るようになって十分」とか「あれを出来るようになるのはもう少し先かな」と思うものを「これをするためには、こうしたらどうでしょう?」と提案してくださるので、とてもありがたいです。	・ご意見いただきありがとうございます。お子さまたちの特性を活かしながら、できる、できたという成功体験をつんでいただけるよう支援させていただきます。						
	7	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17										
	8	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17										
	9	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17										
	10	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16		1								
保 護 者 へ の 説 明 等	11	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14		3	・12、うちは望んでいません。 ・19、この先、他の方も良いお付き合いをしたいので、そんなに交流をしなくても良いです。子どもが仲良くしている子の名前を知ることが出来るくらいが良いです。	・ご意見いただきありがとうございます。利用者様保護者様の意向をお聞きしながら交流の機会を設けていきたいと思っています。						
	12	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	8	1	2			6					
	13	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17										
	14	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17										
	15	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	2			2					
	16	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17										
	17	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17										
	18	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17										
	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	3	7	2			5					
	20	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		2								
保 護 者 へ の 説 明 等	21	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17										
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			1							
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17										

非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			2	・27、その状況になったことがないので分からない。 ・子どもがどこかにぶつけたとかの場合、とても詳しく話して下さい。ありがたいです。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も伝わりやすい説明や、周知方法を検討していきます。
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		1	5		
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				2	
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				2	
満足度	28	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				・プリモは、お兄ちゃんぶれる場所、子ども世代の流行りを教えてくれる場所、友達と一緒に遊べる場所、安心して自転車に乗れる場所として大活躍しています。どうもありがとうございます。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も楽しんで活動いただけるよう精進してまいります。
	29	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。※代表職員の参加、伝達も含む	17					

事業所名 社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ

公表日

2026年2月27日

		チェック項目					工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		1		・把握が手薄にならないよう、学校への送迎を集約して実施している。	・入口には段差があり、車いすの方などが利用する場合は適さないが、対象者がいればスロープ設置など対応していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	1		・職員全員が参画できるよう、時間を設けている。 ・気になるケースがあれば、記録ノートに記載し、職員間で共有している。	・目標を設定し、実行はするが、振り返りができていない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケートも含む	4					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				・個別支援計画の目標項目をケース記録に記載し、支援中でも常に確認できるようにしている。 ・利用者一人ひとりに応じた活動プログラムを提供し、自立やコミュニケーションスキル、社会経験などを意識した様々な活動を取り入れている。	・支援の方向性は確認しながら進めているが、集中して検討する時間の確保も必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		1			
適 切	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		1			

切 な 支 援 の 提 供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	2		2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあいも含む	2	2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	4				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
保 護 者 へ の 説 明 等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2			

・保護者に了承を得て、契約前に児童発達支援事業所や幼稚園、保育所等に連絡し、事前に情報共有を行っている。

・専門性の向上のため外部研修に積極的に参加。また、地域との連携を図るため、町主催の研修会や会議等にも参加している。

・法人内の他事業所と定期的に交流する機会を設けている。

・地域の方との関わりは少ないが、関係機関とは密に連絡を図っている。

・地域との関りが設定できていないが、地域交流を望まないケースもある為、対応を検討している段階である。

・ペアレントトレーニングは実施していないが、外部で研修会などがあれば情報提供している。

・保護者会はないが、保護者同士の交流を図るため、年に1、2回ほど交流の機会(親子奉仕作業など)を実施している。

・SNSを活用し、定期的に活動の様子などを保護者に発信している。SNSでの開示が難しい方に対しては、直接LINEで送ったり、紙面で渡したりしている。

・事業所の行事に地域住民を招待する際は、個人情報やプライバシー保護に十分配慮が必要があることから、事前に保護者へ説明を行い、同意を得たうえで慎重に実施していくことが求められる。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			<p>・安全計画を作成し、安全の確認ができるよう毎日チェック表に記入している。</p> <p>・安全に留意しながら支援しているが、安全管理に関する研修はできていない。</p> <p>・アレルギー結果を確認しているが、医師の指示書までもらうケースはない。</p> <p>・身体拘束を行うケースが現在はないので、個別支援計画に記載していないが、今後記載していく方向で方法を検討していく。</p>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		1			

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	・支援計画を下にスタッフ間で共有しながら、お子さんの特性を活かした活動プログラムを提供している。	・日々のお子さんの状態に寄り添いながら、目的や意図に応じたプログラム内容を検討・実施していく。 ・プログラムの幅が広がるように、療育内容の知識や幅を広げ、一人ひとりの段階に合わせてプログラムを行っていく。
2	充実した環境。	・広い園庭と遊戯室があり、のびのびと活動できている。体を使った活動(運動など)ができることで、情緒の安定にも繋がっている。	・充実した環境を活かし、他事業所のお子さんとの交流など様々な行事やイベントを企画していく。
3	幅広い年齢層のお子さんを受入れている。	・小学生から高校生までの幅広い年齢層のお子さんを受け入れ、発達段階に応じた継続的かつ一貫した支援を提供している。	・異年齢交流の効果をより高めるため、活動プログラムの体系化および職員間での支援方針の共有を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのかかわりが少ない。	・日々の療育業務が優先となり、地域連携に充てる時間が確保できていない。 ・地域側との接点づくりが計画的に行っていない。 ・保護者の不安に配慮し、交流機会を積極的に設定できていない。	・地域との交流機会が少ないため、今後は地域資源との連携や行事参加等を計画的に実施し、継続的な関係づくりを進めていく。
2	他法人事業所との連携が乏しい。	・地域全体での療育ネットワークが構築されていないため、進学・進路・相談支援等への円滑な連携が十分に機能していない。	・地域の連絡会や情報交換会へ積極的に参加し、関係づくりを進める。また、相談支援専門員や関係機関との連携を強化し、支援方針の共有を図る。
3			